

2023
春号

園芸文化

みんなの広場

第36号 2023年6月5日発行



公益社団法人 園芸文化協会

〒113-0033

東京都文京区本郷 1-20-7 安藤ビル 202号室

TEL 03 (5803) 6340 FAX 03 (5803) 6341

E-mail : enbun@soleil.ocn.ne.jp

<http://www.engeibunka.or.jp>

令和5年度 園芸文化賞 受賞者決定

「令和5年度園芸文化賞」の受賞者が、神谷重明さんと坂崎潮さんのおふたりに決まりました。6月15日(木)に「表彰式・記念講演」「懇親会」を開催いたします。くわしくは7ページ「お知らせ」をご覧ください。

● 神谷 重明 (かみや・しげあき)

菊師・菊培養師



菊人形づくりの伝統を受け継ぎ、70年以上にわたり国内外で菊人形や花人形の作成、展示、指導を実践した。また菊人形用の培養師が不足する中、自ら菊人形向きの品種の育種、栽培、保存にも力を尽くし、一線を退いたのちも積極的に菊師、菊培養師の技術の継承と後継者の育成にあたり、「2019 北京世界園芸博覧会」では、氏の指導により制作された作品が最優秀作品賞を受賞するなど氏がわが国の菊文化に与えた影響力は大きく、園芸文化の向上と発展に寄与された。

● 坂崎 潮 (さかざき・うしお)

育種家・有限会社フローラトゥエンティワン代表取締役

企業在職中はペチュニアの野生種を活用したほふく性の品種「サフィニア」の開発に携わり、独立後は世界を代表する個人育種家として、それまでの概念を変える画期的な花を数多く作出し、種苗の普及と市場拡大とともに、個人育種家の地位向上に貢献した。また近年作出の「ラグランジア ブライダルシャワー」は、世界中のなだたる賞を獲得し、アジサイの新しいジャンルを確立させたと大きな注目を集めなど氏が与えた影響力は大きく、園芸文化の向上と発展に寄与された。

坂崎氏作出のアジサイ
「ラグランジア クリスタルヴェール」



園芸文化協会が手伝う

この春の花壇から



宮前公園センター活動開始です。
日比谷公園第一花壇の管理業務が終了



プロローグはグランドカバーローズです

したため、ボランティアの方々は新たに荒川区立宮前公園（以下宮前公園）にて、センターという立場でお手伝いいただくこととなりました。

宮前公園は令和4年4月にオープンした公園で奥峰子常務理事が植栽設計をし、現在管理監修を行っています。バラを中心と宿根草とオーナメンタルグラスをミックスしたガーデン部分が見どころです。今後少しづつ宮前公園のご紹介もしていきます。



ボニーテールの丘を背景に、バラとガウラ

チューリップの来た道～人気の花の知られざる話～

日付：3月5日（日）
会場：マミフラワーデザインスクール
講師：理事 川崎景介

まだ肌寒さの残る薄曇りのなか、JR 大森駅で下車し、急な階段を登り、途中天祖神社に立ち寄り御朱印を頂き、マミフラワーデザインスクールへ。ウェルカムフラワーのチューリップを迎えられ館内に入ると、教室に向かう階段にも生徒さんの作品が飾られており、まるで美術館に来たかのよう、楽しい気持ちになりました。



チューリップの故郷は、実はオランダではなく、タジキスタン、中国などにまたがるパミール高原という標高 5,000 メートル以上の地域なのだそう。厳しい環境の中で生きてきたチューリップが交易のために訪れた人によってオランダ、そして世界に広まつていった過程を、多くの画像やグラフ、表などを交えてお話しいただきました。

途中、恒例のクイズもあり（正解者は 1 名。私は間違えました！）その当時の世界観や人々の暮らしもあわせて紐解いていきました。当時のチューリップ 1 球の価値にあ然！投資に利用されていたそうですが、チューリップに魅了された人たちにより、美術・工芸品に描かれたり、新しい品種が作られるなど、文化も培われていったことがわかりました。



のちに一般庶民でも手にできるようになりましたが、香りの無い花が世界中で受け入れられる例はそうはないそうです。愛らしい単純なフォルムの中に、壮大な歴史を秘めていることをはじめて知りました。先生の話に引き込まれ、時間が経つのが早かったです。いつの時代も、植物の原種群は自然の脅威に立ち向かいながら命を紡いで今日を生きています。それを人間たちの力によって一瞬にして命を奪ってしまう戦争や無謀な開発は避けたいものだ、と改めて思いました。

（文：理事 筱川勝之）

みんなの緑学

もちだ先生の「知らない常識・知ってる間違い」2022 後期（3）「春季に発生する病害虫の原因と予防法」

日付：3月24日（金）
会場：緑と水の市民カレッジ（日比谷公園）
講師：理事 望田明利

毎回キャンセル待ちが出る人気シリーズ。第 3 回目は、春に発生する害虫や病原菌の種類とその予防や防除に使用する薬剤、薬剤散布時および散布後の注意点などについてお話し

いただきました。また、最近の話題として、ここ数年頻発する「サツマイモの基腐れ病」についても詳しく解説いただきました。毎回恒例の参加者からの質問は、今回も 25 件近く寄せられ、その場でひとつずつ丁寧に回答いただきました。

このシリーズを通じ、皆さんができる植物のどういう症状にお困りなのか、どういうことをお知りになりたいのかを伺い知ることができました。今後もシリーズとして継続していくますが、皆さんの関心ごとをテーマに反映



し、引き続き有意義なセミナーを実施していきたいと思います。

プロが厳選する花壇材料 「猛暑に強い草花」

日付：4月19日（水）
会場：日比谷図書文化館4階
セミナールームA
講師：常務理事 奥峰子

令和 5 年度から始まった新シリーズ「プロが厳選する花壇材料」。その第 1 回目、「猛暑に強い草花」につ



いて、多くの公共花壇を手掛ける奥峰子常務理事に、実例を交えてお話しいただきました。ここ数年の夏の暑

さは人間だけでなく植物にとっても過酷です。そんな真夏に、育てやすく、美しい花壇を作るのにおススメの花や、管理の仕方、デザインや組み合わせ方など、知識と経験に裏打ちされた最新の情報を、具体的に紹介いただきました。参加者からの質問も多く、皆さんがどうすることにお困りなのかも伺い知ることができました。今後のセミナーに活かしたいと思います。

おもてなしガーデンボランティア (情熱のローズガーデン)

シンボルプロムナード公園内
「情熱のローズガーデン」
(東京都江東区)
のボランティア活動報告です



《3月11日》

花粉症の方には外での作業がツラい季節。花がら摘み、雑草取りなどを行いました。雑草は出始めに取り除いておくと、この先の管理がラクになります。杉井志織さんが常々おっしゃっている「管理しやすい花壇は（手入れが行き届いているので自然に）美しい花壇になる。」には欠かせない作業です。

《4月8日》

ボランティア活動も今日から2年目。新たなメンバーも加わり、総勢30名になりました。花がら摘みなどを行いました。

午後は、杉井さんより「情熱のローズガーデン」のエリアごとの植物の選び方、色の見せ方などをお話しいただきました。ボランティア参加者へは、「自分の庭と思って、逆に自分の庭ではできない、やらないことを、とにかく気楽に楽しん



でやって欲しい。そして、皆さんご自身で感じたり気づいたりして欲しい。」というメッセージが送られました。

《5月13日》

花壇が最も華やぐ季節。ただ、雨天のため作業は行いませんでした。



「情熱のローズガーデン」は、りんかい線「東京テレポート」・新交通ゆりかもめ「青海」の駅近くにあります。ぜひお出かけください。



「おもてなしガーデンボランティア(情熱のローズガーデン)」講習会 2023-2024

自分で育てたバラを使って心もカラダも楽しく豊かに。 食香バラの使い方、楽しみ方

日 ち：5月13日（土）

会 場：東京港埠頭株式会社会議室

講 師：浦辺菱子（中国山東省平陰県バラ大使）
小杉波留夫

ことも伝えています。そこで今回、中国山東省平陰（へいいん）県のバラ大使に任命されている浦辺菱子さんと、浦辺さんと一緒に活動されている小杉波留夫さんを迎える、食香バラの花びらを使った「バラのローション」を作りながら、食香バラの種類や特徴、使いみちなど、自分で育てたバラを暮らしに取り入れる方法を教えていただきました。バラの花びらに



衣をつけて揚げた「バラの天ぷら」は絶品なのだそう。教室中がバラの香りに包まれ、心地



よいひとときでした。

講習会はボランティアに参加しているなくても受講可能です。6月、1月、2月にも講習会を行います。詳しくはP7またはチラシ、ホームページをご覧ください。

「情熱のローズガーデン」には「食香バラ」が植栽されているエリアがあります。日本ではバラは見ること、育てることが中心ですが、中国ではバラの花を収穫し、暮らしに取り入れる文化があります。ボランティア活動を通じ、そういう

連載 育てるだけが園芸じゃない

貴重な植物遺産

ナショナルコレクションを観に行こう！



National
Collection
JABG National Plant Collection
Certification System



公益社団法人 日本植物園協会 ナショナルコレクション委員会

夏

編

おぐらいけ 巨椋池由来のハス

宇治市植物公園（京都府）

京都府の巨椋池には、古くからハスが生育し、名所として知られてきましたが、1933年から1941年にかけて干拓され農地となりました。その後、1960年代からこの地に残されたハスが採集され、多様な花の形態を持つ100品種以上が栽培されています。これらのうち、巨椋池土地改良区や京都花蓮研究会の協力で収集された54品種のハスのコレクションです。



見ごろ 6月下旬～8月の開花期間中に一般展示エリアで公開

宇治市植物公園 <http://uji-citypark.jp/botanical/>



野生のハスおよび キバナハスのコレクション

京都府立植物園（京都府）

ハス属を含むハス科は、かつて今よりも多様で広く分布していましたことが知られています。

京都府立植物園では、海外での調査等で採集されたハス属 野生種2種の19系統121個体を保有しています。ハス属の保全にとどまらず、原種が持つ形質、生態的特性、栽培品種との遺伝的関係、および分布拡大の経過などを解明・考察するうえで重要です。

見ごろ 6月下旬～8月の開花期間中に一般展示エリアで公開

京都府立植物園 <https://www.pref.kyoto.jp/plant/>

兵庫県立フラワーセンター ストレプトカーパス属コレクション

兵庫県立フラワーセンター（兵庫県）

ストレプトカーパス属は1980年代に室内観賞用植物として注目されました。当時の栽培品種は日本の気象条件では栽培の難しいものが多くたため、家庭での鉢栽培に適した園芸品種を育成しました。当コレクションは、当園が育成した栽培品種57品種とその改良にかかわった原種及び栽培品種合わせて188種類であり、貴重な遺伝資源として、さらなる品種の開発に繋がることが期待されます。



ストレプトカーパス・デンティクラツス

見ごろ 温室で通年開花株を展示。

10月に特別展示「ストレプトカーパス展」を開催

兵庫県立フラワーセンター <https://flowercenter.jp/>

日本で栽培される貴重な植物、ナショナルコレクション認定コレクションを紹介する連載の2回目は、夏に観賞できる植物を取り上げました。日本を代表するすばらしいコレクションをぜひご覧ください。

また、5月に開催された日本植物園協会の大会で、新たに3件のナショナルコレクションが認定されましたので、あわせてご紹介します。これまでの17件の認定により、合計で2,685種類の植物の保全が図られています。

■日本植物園協会ナショナルコレクションとは？

野生種、栽培種に関わらず、日本で栽培されている文化財、遺伝資源として貴重な植物を守り後世に伝えていくことを目的とした保全システム。

※申請方法やこれまでに認定されたコレクションの詳細について日本植物園協会のホームページをご覧ください。

日本植物園協会
ホームページは
こちらから



兵庫県立フラワーセンター ウツボカズラ属の原種の系統 保存コレクション

兵庫県立フラワーセンター（兵庫県）

1988年頃から収集・栽培及び展示を行ってきたウツボカズラ属は、その捕虫器官の形態や仕組みが観察対象として優れていることから、特に力を入れて収集を行ってきました。当園のコレクションは、それぞれの種の特徴的な形態を持つ原種53種1変種、自然交雑種4種からなる134系統にも及ぶ国内屈指のコレクションです。これらは、野生種についての貴重な生きた標本であり、生息域外保全の役割も果たすことが可能です。

見ごろ 温室でおよそ40系統を常時展示。
7月～9月に「食虫植物特別展示」を開催



兵庫県立フラワーセンター <https://flowercenter.jp/>

新たに認定されたコレクション

小田急山のホテル 庭園のシャクナゲ

小田急電鉄株式会社（東京都）

見ごろ

4月下旬～5月中旬に「つつじ・しゃくなげフェア」を開催

小田急山のホテル
https://www.hakone-hoteldeyama.jp/tsutsuji_shakunage/



新潟県立植物園 アザレアコレクション

新潟県立植物園（新潟県）

見ごろ

1～2月に温室内で「アザレア展」を開催

新潟県立植物園
<https://botanical.greenery-niigata.or.jp>



国営武蔵丘陵森林公園 サクラソウコレクション

国営武蔵丘陵森林公園都市緑化植物園（埼玉県）
(森林公園里山パークス共同体)

見ごろ

4～5月の開花期に「さくらそう展」を開催

国営武蔵丘陵森林公園 <https://www.shinrinkoen.jp/>



公開および展示期間などについては、各施設にお問い合わせください

今号のひと

理事 上田奈美さん



今回は昨年理事に就任された上田奈美さんを紹介します。異業種から転身され、さまざまなメディアを通してガーデニングの魅力を広めるかたわら、日本ハンギングバスケット協会理事

長はじめ複数の業界団体で要職に就かれており、業界の発展のために日々尽力されています。笑顔が素敵で明るくフレンドリー。作品も人柄も魅力的で「花ある人」という言葉がピッタリの上田理事です。

好きな植物は？ タイタンビカス・・・どんな猛暑の中でも驚くほど大きな花を次々に咲かせ、見る人を元気に笑顔にしてくれるパワーのある花。一日花で太く、短く、潔さも魅力の一つ。手間をかけずに翌年も再び

開花してくれる丈夫な花

趣味は何ですか？ 音楽鑑賞、ドライブ、手紙を書く
座右の銘はありますか？ 人生の方程式=熱意 × 考え方 × 能力（考え方方が悪ければマイナスになる）

幸せを感じるのはどんな時？ 朝一番の珈琲の香り。好きな音楽を流し車の運転をしているとき

最近感動したことは？ 侍 JAPAN の WBC 優勝
尊敬する人は？ 稲盛和夫氏（京セラ創業者・実業家）
休日の過ごし方は？ ゆっくり時間をかけて料理をする。旅行

皆さんへのメッセージをお願いします

日本ハンギングバスケット協会の新理事長となり、合わせまして園芸文化協会の理事に就任することとなりました。花と緑を育て愛することは、暮らしに彩りを添え、明日への活力、喜びを生みだすことを少しでも多くの方に伝えられるように、微力ではありますが努めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

シャクヤクの手描き図書

「花鏡」

隠居 小笠原左衛門尉亮軒
<http://nagoyaengei.co.jp/> より

折帖に仕立てられ、見開き左方に花の図、右に品種名とそれを題とした和歌一首が優雅な手で書かれている。

内容は和歌集の編集に倣らい春（十六種）夏（四）秋（七）冬（三）恋（六）神祇（一）釈教（二）雑（七）賀（一）に分類されている。

たとえば春の部に「転寝」には、「花散し あとにかたしくうたたねは はるのけしきやゆめにみゆらん」とあり、帯紫紅色一重金しふべきの花。

また夏の部に「浪頭」、「山水のいわにさかまく なみがしらなつをよそなる ここちこそすれ」 花は白色一重、翁しふべと金しふべの仲間種が描かれている。

作画は実にていねいに描かれ、お



そらく実物を眼前にし、それなりの画技のある人の手によったものであろう。一方装丁もよく、表紙は金欄装、見開き左右それぞれ金箔の額縁装い、帖の天地左右全て金箔で回され、更に帙は緞子装であり、よほど優雅な暮らしをしていた人の持ち物であつ

たと思われる。

成立年代は、記載品種と他の園芸資料と照合などの研究に待たねばならないが、江戸中期頃上方的な面影がするような気がする。じっくり時間をかけて研究したい。



総務委員会より

「令和5年度定時総会」(6月15日(木)13時～)の出欠票兼議決権行使書の提出がお済みでない会員様は、至急ご提出いただきますようお願ひいたします。

表彰委員会・事業委員会より

「令和5年度定時総会」に続き、「令和5年度園芸文化賞表彰式・記念講演」と「懇親会」を開催いたします。

日時：6月15日(木) 14:00～17:00

会場：東天紅上野店ルナホール

詳細・お申込みは別紙案内をご覧ください。

事業委員会より

当協会が手伝う花壇の活動報告です。

●日比谷公園

第二花壇の四隅のバラ花壇をボランティアグループ「日比谷ローズ」がお手入れしています。5月初旬、見事なバラが来園者を楽しませていました。

●新宿御苑

丸花壇(風景式庭園内・大温室前)と三角花壇(中央休憩所付近)のデザインを奥峰子常務理事が担当しています。毎月、奥常務理事が出向き、ボランティアの方に指導しながら、一緒に作業をして



います。花見客でにぎわう3月下旬には、パンジーとチューリップの花壇が園内に彩りを添えました。4月末にはマリーゴールドなどの夏の草花に植え替えを行いました。



の花壇が園内に彩りを添えました。4月末にはマリーゴールドなどの夏の草花に植え替えを行いました。

園芸文化協会
の本棚から

新刊のご紹介



おしゃれな庭の舞台裏 365日 花あふれる庭 のガーデニング



KADOKAWA 1,870円(税込)
ガーデンストーリー著

本書では、美しいと話題の個人庭では、どのように365日を咲き継がせていくのかを、シーズンごとの庭景色で解説されています。また「日向の庭」「半日陰の庭」「小径の庭」など環境ごとに5つのエリアに分かれていて、それぞれ魅力的な演出方法も必見。さらに、寄せ植えの実例も数多く紹介されていて、ベランダガーデナーも楽しめる内容になっています。巻頭の「咲きつぐ花カレンダー」も便利。365日花であふれる庭づくりのヒントとして、ガーデニングをしない人、お休み中の人も見て楽しい1冊です。

講座委員会より

《セミナー実施報告》

●3月5日(日)

チューリップの来た道～人気の花にまつわる知られざる話～

講師：川崎景介(理事) 参加：21名

●3月24日(金)

もちだ先生の「知らない常識・知ってる間違い」2022後期(3)「春季に発生する病害虫の原因と予防法」 講師：望田明利(理事)

参加：26名

●4月19日(水)

プロが厳選する花壇材料「猛暑に強い草花」 講師：奥峰子(常務理事) 参加：23名

●5月13日(土)

「おもてなしガーデンボランティア(情熱のローズガーデン)」講習会 2023-2024(1)自分で育てたバラを使って心もカラダも楽しく豊かに。食香バラの使い方、楽しみ方 講師：浦辺孝子氏(山東省平陰県バラ大使)・小杉波留夫氏 参加：19名

●5月19日(金)

もちだ先生の「知らない常識・知ってる間違い」2023前期～雑草・害虫・農薬～(1)「除草と雑草の対策」 講師：望田明利(理事)

参加：34名

《セミナー実施予定》

※予告なく変更および中止になる場合もございます。

●6月10日(土) 13:20～15:20

「おもてなしガーデンボランティア(情熱のローズガーデン)」講習会 2023-2024(2)バラの病害虫管理・梅雨どきの植物管理

講師：牛迫正秀氏(住友化学園芸株) 会場：東京港埠頭株式会社会議室 参加費：会員1,500円 一般2,000円

●7月5日(水) 14:00～16:15

プロが厳選する花壇材料「カラーリーフプランツ」 講師：奥峰子(常務理事) 会場：日比谷図書文化館4階セミナールームB 参加費：会員2,500円 一般3,000円 定員：22名 ※キャンセル待ちにて受付中

●7月21日(金) 13:30～16:00

もちだ先生の「知らない常識・知ってる間違い」2023前期～雑草・害虫・農薬～(2)身近にひそむ危険な虫 講師：望田明利(理事)

会場：緑と水の市民カレッジ(日比谷公園) 参加費：2,000円 定員：30名 ※キャンセル待ちにて受付中

編集長より

私の住んでいる街には広い庭のある家は少ないので、家の外回りなど狭い場所で植物を育てている家は多く、植えられている植物も多彩です。その中で一軒、1年を通じて花が絶えない工夫をされているお宅があります。家の外壁から1mほどの空間に色々な植物が植えられていますが、特にバラがお好きなので、5月の花時は見事です。中でも、家の壁に沿わせた「ピエール・ドゥ・ロンサール」は素晴らしいです。狭い場所なのに病害虫の被害などもないのは、花が好きで、好きで、手入れが行き届いているからだと思います。「広い庭がないから」と諦めるではなく、自分の好きな花に集中して楽しむのも、良い楽しみ方と思いました。でも、道ゆく多くの人は奇麗に咲く花の前を足早に通り過ぎてしまうのは残念です。「私を見て！」と花が呼びかけているのに、気が付かないのは心に余裕がないからでしょうか？ しばし足を止めて、奇麗な花を愛でて心の安らぎを得て欲しいです。



南場浩一

The image is a collage of various promotional materials. At the top left, there's a QR code with the text '切り花新品種紹介' (New Cut Flower Varieties Introduction) above it. To its right is another QR code with the text 'ガーデニング' (Gardening). Below these are two large green circular logos with stylized white symbols. To the right of the logos is the text 'INNOVATE FOR BEAUTY & TASTE'. Further down, there's a green circular logo with a stylized symbol, followed by the text 'ミヨシグループ' (Miyoshi Group) and 'MIYOSHI GROUP'. At the bottom, there's a white rectangular box containing Japanese text: 'みらいのイチゴ' (Future Strawberry) above 'ベリーポップ' (Berry Pop), accompanied by an illustration of a woman holding a strawberry.

とよあけは花文化をつなぐ一個として日本の花き園芸文化を守り続けています

文学・芸術とともに世界最高峰まで発展した「日本の花文化」を伝統的な花ごとに解りやすくユーモラスに記した一冊

花の文化立国

検索

toyoake@fengming.jp 愛知豊明花き流通協同組合